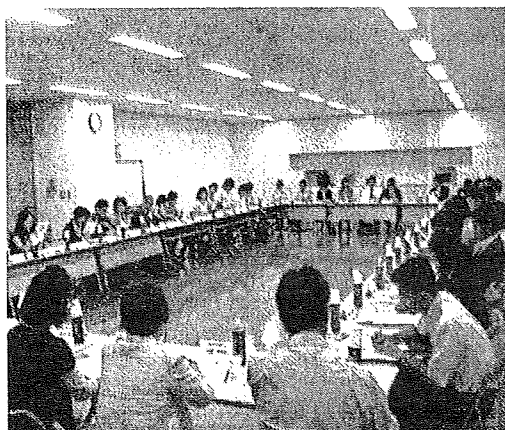


圏域	第1巡目	第2巡目
区中央部	平成20年1月25日	平成22年2月17日
区南部	平成20年2月22日	平成21年2月9日
区西南部	平成19年11月8日	平成21年2月9日
区西部	平成20年7月3日	平成22年3月17日
区西北部	平成20年9月16日	平成21年12月18日
区東北部	平成21年3月18日	平成21年9月8日
区東部	平成20年3月17日	平成21年9月8日
西多摩	平成20年5月16日	平成21年5月12日
南多摩	平成20年11月25日	平成22年3月12日
北多摩西部	平成20年7月29日	平成21年7月29日
北多摩南部	平成19年7月27日	平成21年1月21日
北多摩北部	平成19年8月3日	平成20年11月21日

地域ネットワーク連絡会の開催状況について

地域ネットワーク連絡会の開催状況については、第1巡目、第2巡目それぞれ左記のとおりであり、全圏域で2巡目を実施した。

地域ネットワーク連絡会の様子



H21.9 区東部・区東北部合同開催(足立区内の会場)

4

地域ネットワーク連絡会の様子

これが会議の様子である。

写真中央奥が、地域リハビリテーション支援センターとなっている医療機関、左側が区役所・市役所の障害者福祉関係職員、手前が当事者・家族団体となっている。

このような会議を、それぞれの圏域でそれぞれ2回ずつ開催した。

成果

○関係者が初めて一同に会して互いに、地域内の資源を知ることができた。

○区市町村が問題意識を持ち、自立的な活動の動きが出始めた。

5

地域ネットワーク連絡会の成果

このような会議でネットワーク作りができるかという疑問があると思う。

それについては、左記のような成果があがっている。

ここで重要なのは2番目である。

高次脳機能障害者は、急性期、回復期の病院を出た後、地域へ戻り、地域福祉の支援を受ける。

その地域の受け皿を担う区市町村が、自ら問題意識を持ち、自立的な活動を始めることが何より重要である。

2. 就労支援

・地域の就労支援機関等からの依頼に基づき、一般就労(新規就職・復職)から福祉的就労まで、幅広い「職業生活」の実現のため、作業課題によるトレーニング、グループワーク等を組み合わせた、6ヶ月間の独自のプログラムを提供し、職業評価を行う

①新規利用者数 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21年度	4	3	5	8	3	8	1	3	2				28
20年度	2	7	4	1	3	5	2	2	3	2	1	5	37
19年度	-	-	-	-	-	1	2	4	2	8	2	8	11

※19年9月から事業開始

②利用者の状況(事業開始以来の集計)

利用者数	現在の利用中数	終了者数	終了者の現況(平成21年12月末まで)				
			復職	職業訓練	求職活動	通所施設	在宅
77	24	53	18	11	5	22	5

6

就労支援

東京都心身障害者福祉センターでは、区市町村からの依頼に基づいて、6ヶ月間かけて職業評価を行なっている。

平成19年度から事業を開始し、現在まで77人の利用があり、53人の評価を行なった。

評価に基づく終了者の進路は、左記のとおりであり、一般就労へ向けた進路となった者と、福祉的就労・在宅が約半々となっている。

プログラムと訓練の様子

利用者の訓練プログラムである。6ヶ月かけて取り組んでいく。

プログラムの案内パンフレット

職業評価票

職業評価票

最終的には、左記のような職業評価票を作り、本人に知らせると共に、依頼元の区市町村に報告する。

その他就労関係機関との連携

就労関係機関連絡会

開催日:平成21年11月11日

参加者:東京労働局、東京障害者職業センター、
心身障害者職能開発センター、区市町村
就労支援センター等

内容:情報交換、支援連携、ネットワークづくり、
就労支援促進策等を検討

9

その他就労関係機関との連携

当センターの職業評価がより有機的に就労支援機関と結びつくため、就労支援機関、区市町村の関係機関と連絡会を行っている。今年度は11月に開催した。

3. 人材育成・普及啓発

平成21年度の実績

相談支援研修会

区市町村の実務者を対象に研修・意見交換

- ① 入門編 7月13日 参加者265名
「高次脳機能障害の基礎知識と相談支援のポイント」(医師)
「都内における高次脳機能障害者支援の現状と課題」(当センター 作業療法士)
- ② 中級編 10月21日 252名
「記憶障害の基礎知識とリハビリテーション」(医師)
「記憶障害者の生活支援」(当センター臨床心理士 作業療法士)
- ③ 応用編 1月14日 174名
「高次脳機能障害者の職業的課題～企業からの相談事例をもとに」
(障害者職業カウンセラー)
「職業準備性を高めるといふこと その有用性と課題」(当センター 臨床心理士)
- ④ 上級編 3月18日予定
「事例を通して考える、高次脳機能障害者の支援」(グループワーク)

相談支援員連絡会

参加者:区市町村等の実務者

内容:取組みに関する研修・意見交換、課題討議

- ① 5月 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施 実施予定自治体担当者 23名
- ② 7月 北多摩北部・北多摩南部 12名
- ③ 9月 区西北部・区西部・区南部・区西南部 22名
- ④ 11月 北多摩西部・南多摩 西多摩 14名
- ⑤ 2月 区中央部・区東部・区東北部

10

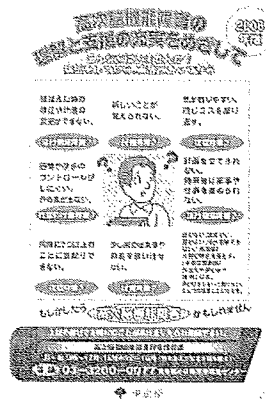
人材育成・普及啓発

区市町村の障害福祉関係職員を対象に平成21年度は合計9回の研修会を行なっていた。参加人数は全体で約800人であった。

広報・普及啓発

障害理解リーフレット

「高次脳機能障害の理解のために」



高次脳機能障害の普及・啓発パンフレット
「高次脳機能障害者の理解と支援の充実をめざして」

就労支援リーフレット
「脳に損傷を受けた人が再び働くために」

11

広報・普及啓発

左記は普及啓発のためのパンフレット、リーフレットである。高次脳機能障害の解説、相談機関、通所施設、病院などを紹介している。

これらは、区市町村、病院などに配布をしている。障害者の手元に届くようにすると共に、関係機関職員の手引書となっている。

発行部数は、パンフレットは21年度に6000部、障害理解のリーフレットは5000部である。(就労支援リーフレットは20年度に5,000部発行したものの。)

4. 相談支援

■専用電話 2本

■相談支援件数(平成22年1月末現在)

新規451件、継続294件

(相談者:本人+親族207件、
行政+病院+施設等187件、その他57件)

■コーディネーター 2名(社会福祉士、心理)
支援チーム 10名(心理、OT、ST、PT、福祉)
スーパーバイザー 2名(医師)
事務局 4名

■所内支援会議 月1回(支援事例検討、事業運営打ち合わせ、勉強会)

12

相談支援

高次脳機能障害者用の専用電話を2本持っている。21年度は1月末までで新規で451件の相談を受けている。

相談には、当センターの規模を生かし、左記のような多様な職種の職員が当たっている。難しい相談については、所内で支援会議を開き、支援方法の検討を行なっている。

相談の傾向と対応

※本データは平成21年4月～22年1月のもの(新規相談計451件)

医療に関する相談	105件
障害の理解、対応等	121件
生活上の困難・対応	63件
就労	33件
サービスの利用	161件
その他(家族会関連含む)	49件

可能な限り地域の相談窓口を紹介
必要に応じて協働して支援


助言	203
情報提供	276
他機関につなぐ	8
その他(ウレシイ人等)	19
相談継続の検討必要	25

※1件につき複数の相談内容が計上されているものもある。

13

相談の傾向と対応

相談の内容は、医療に関する相談、障害の理解、対応に関する相談、福祉サービスの利用に関する相談が主なものとなっている。



日本財団 助成事業 平成21年10月
主催: NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会 (TKK)
後援: 東京都心身障害者福祉センター

高次脳機能障害者のための「家族相談交流会」ご案内

こんな悩みをお持ちの方はいませんか?

- ★ 家族、近親者が脳卒中、事故などにより脳に損傷を受けて入院中だが、後遺症が心配。
- ★ 身体や脳のリハビリをしているが、この先、地域や家庭でどうしていいのかわからない。
- ★ 高次脳機能障害者を持つ家族が歩んできた話を聞きたいが、その機会がない。

私たちと話をしてみませんか!

- 私たちは、高次脳機能障害者を持つ家族の団体が集まった協議会 (TKK) の相談員です。
- 10年以上前、高次脳機能障害という障害がなかった時代から、多くの苦方を乗り越えてきた経験のある方ばかりです。
- 生活の積み立てややりとりについて、私たち自身も家族会の仲間たちの経験をとお話します。

■ 家族相談交流会は、悩みをお持ちの方々と、私たち相談員の話し合いの場です。
開催日時: 11月4日(木)、12月9日(木)、1月13日(木)、2月10日(木)、3月10日(木)の各日(予定) 13:30～15:30(予定)

・場 所: 東京都心身障害者福祉センター【東京都における高次脳機能障害支援拠点機関】
2階 高次脳機能障害者支援ルーム (東京都新宿区戸山二丁目17番2号)
TEL: 03-3344-1111 (受付時間: 10:00～18:00) FAX: 03-3344-1112 (受付時間: 10:00～17:00)

・定 員: 各回15名(要予約)程度
・申込: 要領の申込書に記入し、アプスまで(1)郵送し、相談日を連絡いたします。
・費 用: 無料
・問い合わせ: 担当スタッフ E-Mail: family@tkk.or.jp TEL: 03-3344-1111

交通事故や脳卒中などの後遺症で、高次脳機能障害の人達に、こんなこと困っています。

- ★ 読めることが苦手になりました。何故か判、質問ができません。中心病が心配になります。
- ★ 忘れ、忘れた、聞き取れない、話さず、やめる、困っています。
- ★ 自分で決断ができません。仕事の手順もわからなくなりました。
- ★ 誰か見守ってほしい、支障が心配、困っています。同じような悩みを抱えている方はいませんか?
- ★ 助言がほしいと思っています。どうすればいいかわかりません。困っています。
- ★ 読め、聞き取れない、話さず、やめる、困っています。同じような悩みを抱えている方はいませんか?
- ★ 困っています。馬鹿だと思われています。困っています。

NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会 (TKK) <http://www.tkk.or.jp/>
〒100-0062 東京都千代田区千代田1-13-12 TEL: 03-3344-1111 FAX: 03-3344-1112

高次脳機能障害者のための「家族相談交流会」

当事者団体による相談会も当センターで開催した。医療機関や行政の相談では補えない、家族会ならではの助言などができ、貴重な機会となった。

5. 更生施設における社会復帰訓練

- ・定員
50名
- ・訓練期間
6ヶ月(入所の上限は1年)
- ・職員構成

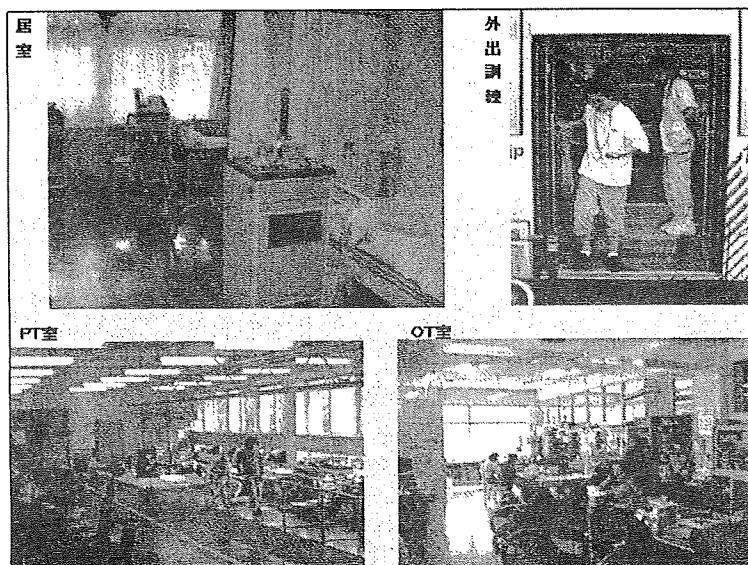
施設長1人	生活支援員14人
PT4人	OT3人
ST1人	心理1人
ケースワーカー3人	医師1人
看護師1人	栄養士1人

14

更生施設における社会復帰訓練

当センターの更生施設は身体障害者の更生施設であるが、利用者の大半が高次脳機能障害をもっているため、実質的には高次脳機能障害者の社会復帰訓練施設となっている。

50人定員で、6ヶ月の訓練期間である。



訓練風景

右上の外出訓練については、入所時は、1人で外出できない方がほとんどだが、6ヶ月で公共機関を使って外出できるようになって頂いている。

入所実績データ

① 平成21年度各月末現在の入所者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
入所者数	31	32	31	31	31	31	29	29	25
待機者数	6	7	10	7	9	9	12	12	10

② 年度別新規入所者の内訳

原因疾患別	平成20年度		平成21年度	
	うち高次脳機能障害あり		うち高次脳機能障害あり	
脳血管障害	47	44	29	29
脳性マヒ	0	0	0	0
脊髄障害	0	0	0	0
頭部外傷	2	2	2	2
外傷	0	0	0	0
その他	3	1	3	3
計	52	47	34	34

※平成21年度は12月未まで

16

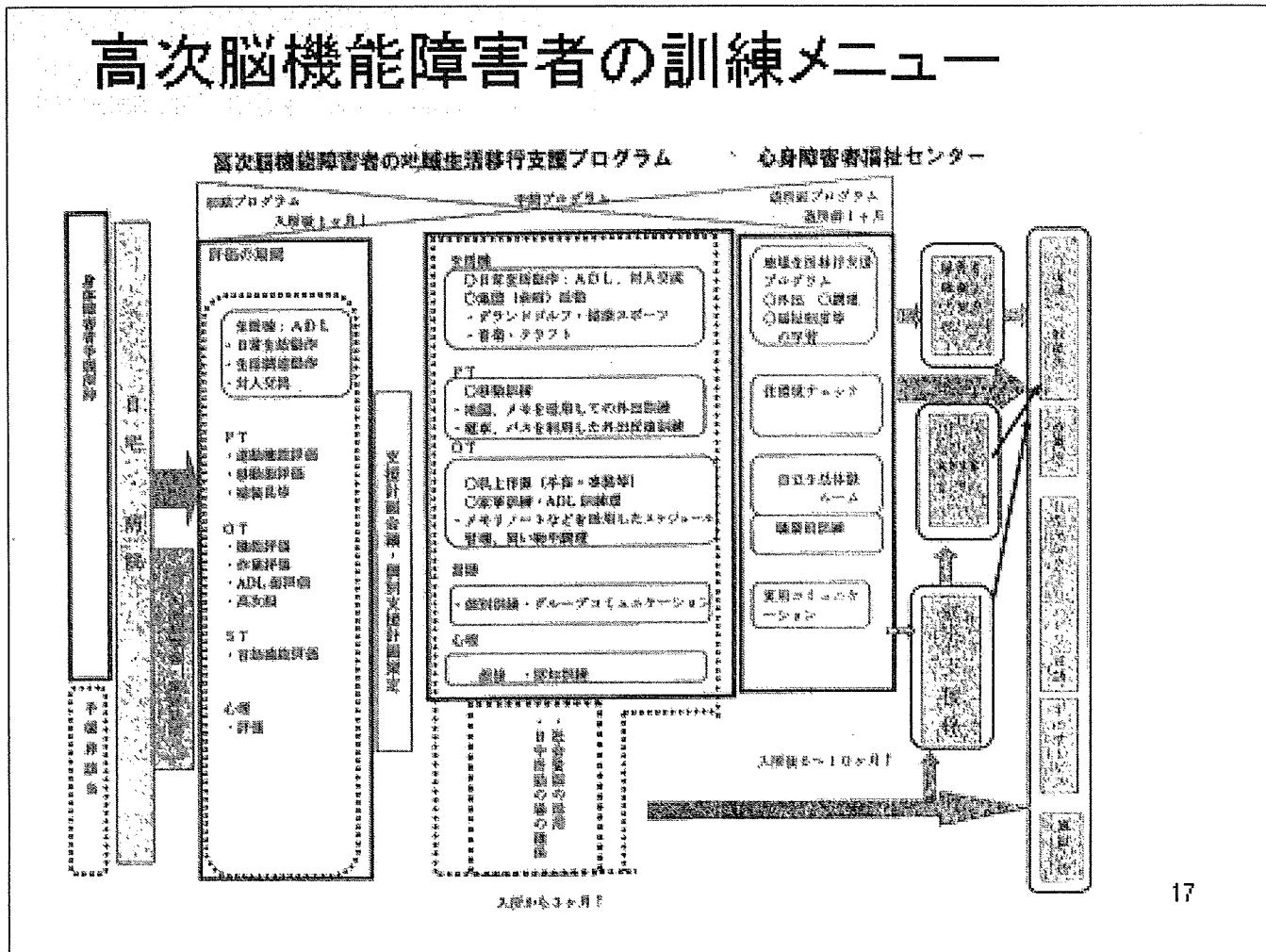
統計数字

平成21年12月末までのデータであるが、今年度の新規入所者は全員が高次脳機能障害を併せ持っている。

訓練メニュー

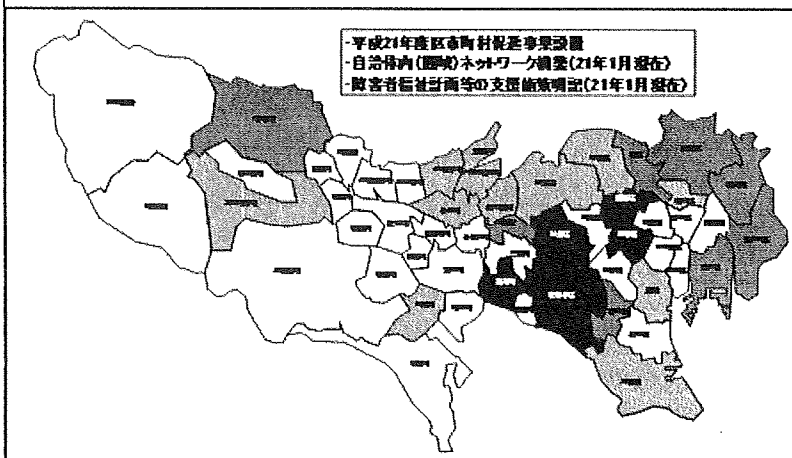
訓練メニューであるが、PT、OT、ST、心理、福祉、医師などの多職種がそれぞれの分野からかかわって支援を行なっている。標準訓練期間は6ヶ月だが、障害の程度が重かったり、生活環境調整が難しいなどの困難事例が多いため、平均入所期間は6ヶ月となっている。

高次脳機能障害者の訓練メニュー



今後の方向性

★区市町村自らが自立的に、地域で高次脳機能障害者を受入れることができるようになることが最終目標である。



今後の方向性

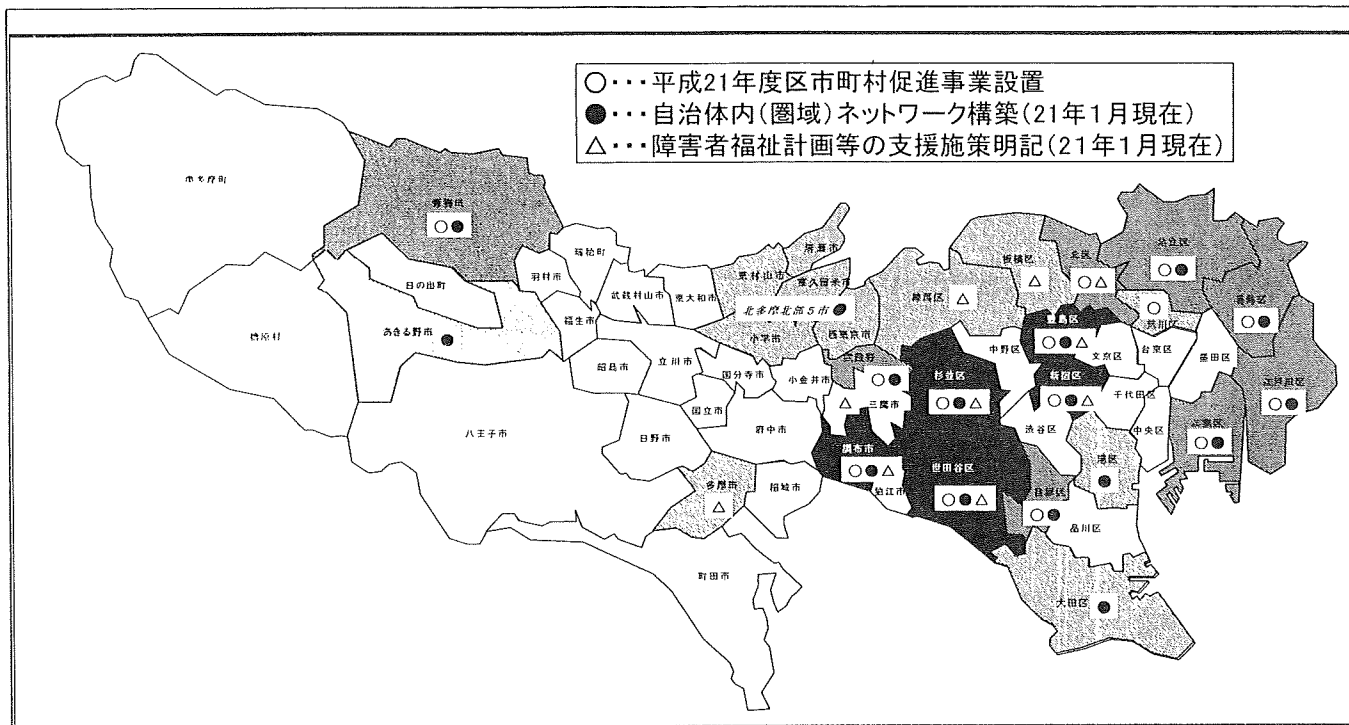
最後に、支援拠点として、東京都がめざす方向性である。

最終目標は、区市町村自らが、地域で高次脳機能障害者を受入れるようになることである。

- ・東京都の平成21年度区市町村促進事業を設置しているか
 - ・自治体内(圏域)に自らネットワークを構築していないか
 - ・区市町村の障害者福祉計画等に支援施策を明記しているか
- の3指標のうち、3つが達成できていることが一番濃く、順次2つ、1つとなっている。来年度は、濃い色を更に拡大する見込みである。

(参考) それぞれの取り組みの内訳

上記を補足すると、下記のとおりとなっている。



厚生労働科学研究費補助金
分担研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援に関する研究（H21-こころ一般-008）
平成21年度東海ブロック

分担研究者 山田 和雄
名古屋市立大学附属病院長

研究要旨

高次脳機能障害者の地域生活支援について、「東海ブロック連絡協議会」を開催することで、ブロックとして各県の実情を検討し、意見交換をする。それによって、
①地域にあった支援ネットワークの構築に必要な点を検討する。
②ブロック各県が持ち回りで、「東海ブロック連絡協議会」を主催するとともに、事例検討会などを開催することで、各県の支援力アップを図る。
③各県の高次脳機能障害支援の補う部分に関し、科研費をその一助とする。

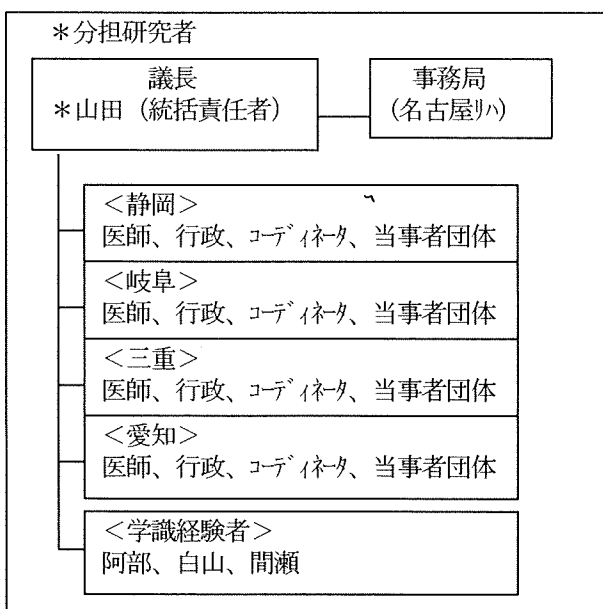
A. 研究目的

東海ブロックにおける各県の支援力、ネットワークの構築にむけて、各県の実情や手法を検討し、地域に合ったシステムを開発する。

B. 研究方法

- 平成18年度から東海ブロック4県（静岡、岐阜、三重、愛知）の高次脳機能障害に携わる行政担当者、医師、支援コーディネーター、家族会代表、および学識経験者による東海ブロック連絡協議会（議長：分担研究者）を設置。毎年1～2回、継続的に協議会を開催している。

<東海ブロック連絡協議会の構成>



<東海ブロック連絡協議会委員>

	氏名	所属等
<議長>	山田和雄	名古屋市立大学/分担研究者
<学識経験者>	阿部順子	岐阜医療科学大学
〃	白山靖彦	静岡英和学院大学
〃	間瀬光人	名古屋市立大学
<静岡県>		
医師	片桐伯真	聖隷三方原病院
行政	山野富美	静岡県健康福祉部精神保健福祉室
支援コーディネーター	坂口英夫	障害者生活支援センターくぬぎの里
当事者団体	滝川八千代	脳外傷友の会しずおか
<岐阜県>		
医師	篠田淳	木沢記念病院、中部療護センター
行政	丹羽伸也	岐阜県精神保健福祉センター
支援コーディネーター	宇津山志徳	木沢記念病院
当事者団体	西村憲一	NPO法人ぎふ脳外傷友の会長良川
<三重県>		
医師	太田喜久夫	松坂中央総合病院
行政	石井千博	三重県障害者相談支援センター
支援コーディネーター	鈴木真	三重県身体障害者総合福祉センター
当事者団体	古謝由美	三重TBIネットワーク
<愛知県>		
医師	深川和利	名古屋市総合リハビリテーションセンター
行政	横田茂起	愛知県健康福祉部障害福祉課
支援コーディネーター	長谷川真也	名古屋市総合リハビリテーションセンター
当事者団体	尾山芳子	NPO法人脳外傷友の会みずほ

- 各県が連絡協議会を持ち回りで開催し、併せて各県が課題とする点について、事例検討やセミナーの開催を行う。
- 各県の高次脳機能障害支援の実情に合わせ、独自のセミナーの開催による広報・啓発や研究などを行う。

C. 研究成果

1. 東海ブロック連絡協議会

(1) 東海ブロック連絡協議会の開催

開催日：平成22年1月22日（金）

会場：ウインク愛知（愛知県産業労働センター）

プログラム

午前：①高次脳機能障害に関わる厚生労働科学研究の経緯について

②各県における高次脳機能障害支援の現状と課題

—静岡県、岐阜県、三重県、愛知県

午後：①ケース検討（困難事例）

—静岡県、岐阜県、三重県、愛知県

②H22年度以降の厚生労働科学研究のあり方について

—H22～23年度については各県の独自企画で事例検討、研修会等を兼ねた連絡協議会を開催し、各県は協力する

(2) 各県の活動

各県の活動については、各県活動報告に詳細記載。

(3) その他

前年度の研究事業の一環だが、平成21年9月に「頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査」を発刊した。これは11年に発刊したものと、ほぼ同一内容で東海4県の家族会を中心に調査（回答：365家族）し、支援普及事業、厚生労働科学研究を通して、10年でどのような変化があったかの確認を中心に実施。主な変化は以下の通りであった。

<実態調査>10年間で変化が見られた主な事項 単位：%

質問事項		1999年 n:378	2000年 n:365
障害者手帳	精神障害者手帳所持	6.2	31.2
	いずれの手帳も未所持	28.7	21.6
収入	年金等未支給	43.7	27.9
社会参加状況	一般就労	14.8	26.0
	何もしていない	24.8	17.0
要望	啓発活動	11.6	22.2

- ・ 障害者手帳所持者、収入ある方、一般就労率の増加は予想通りだったが、高次脳機能障害の周知に伴って啓発活動への要望が高まっている。

D. 考察

高次脳機能障害支援普及事業、厚生労働科学研究が開始された平成18年度以降、東海ブロック各県においては、それぞれの地域性はあるものの、不足部分については地域のネットワークにより補完しあい、それぞ

れの支援機関においては支援力をアップさせることで、高次脳機能障害者の支援体制が徐々にではあるものの確立されてきた。連絡協議会はそれを確認する場であり、また科研費は各県の高次脳機能障害者支援の研究および普及活動に寄与している。

E. 結論

各県の成果は、各県活動報告に詳細記載。

なお、厚生労働科学研究については、上記考察で述べたとおりで、高次脳機能障害者支援に寄与するものであるだけに、今後も継続されることが望まれる。

F. 健康危険情報

—

G. 研究発表

別紙各県活動報告・研究成果刊行参照。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

21年度 静岡県実績

支援拠点機関名及び支援コーディネーター（職種）

支援拠点機関名	支援コーディネーター（職種）
社会福祉法人共生会 相談支援センターきさらぎ	太田秀夫（精神保健福祉士） 岩崎映美子（相談支援専門員）
社会福祉法人富士厚生会 障害者生活支援センターくぬぎの里	坂口英夫（社会福祉主事） 角替大介（介護福祉士）
特定非営利活動法人 清水障害者サポートセンターそら	山本忠広（介護支援専門員） 山下由美（社会福祉士）
社会福祉法人高風会 暁	大石麻喜（相談支援専門員・精神保健福祉士・ 社会福祉士）
社会福祉法人みどりの樹 ぼるた	柴山由美子（相談支援員・看護師） 尾関久子（社会福祉士・精神保健福祉士）
特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネットしずおか	滝川八千代（理事長・家族） 植田しずえ（家族） 井澤しげる（副理事・家族）

当事者／家族からの直接相談のべ件数（21年12月末現在）

	きさらぎ	くぬぎの里	そら	暁	ぼるた	サポート ネット しずおか	合計
電話	143	694	19	84	142	628	1,493
来所	105	149	6	24	54	213	472
メール・書簡	5	23	0	0	64	295	319
その他	24	218	6	2	80	105	362

機関・施設等からの間接相談のべ件数（21年12月末現在）

	きさらぎ	くぬぎの里	そら	暁	ぼるた	サポート ネット しずおか	合計
電話	82	18	20	30	57	68	228
来所	7	3	0	0	40	0	12
メール・書簡	9	0	0	10	20	237	272
その他	6	5	2	19	7	1	40

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

きさらぎ

- ・ケース会議①—当事者・家族・OT・行政機関・ハローワーク・就業生活支援センター
- ・ケース会議②—当事者・家族・行政機関・医療機関
- ・ケース会議③—当事者・行政機関・就業生活支援センター
- ・ケース会議④—医療機関・就業生活支援センター
- ・ケース会議⑤—当事者・家族・行政機関・相談支援センター
- ・ケース会議⑥—当事者・家族・行政機関・相談支援センター
- ・熱海・伊東圏域支援ネットワーク連絡会議—医療機関・行政機関・福祉施設・家族会・

相談事業所

- ・ 東部圏域支援ネットワーク連絡会議—医療機関・行政機関・福祉施設・家族会・相談事業所
- ・ 御殿場・小山地域支援ネットワーク会議—医療機関・行政機関・福祉施設・家族会・相談事業所
- ・ 賀茂地域支援ネットワーク会議—医療機関・行政機関・福祉施設・家族会・相談事業所

くぬぎの里

- ・ ケース会議
4回 10 ケース (医療機関：Dr, ST, PT, OT, MSW、学校教員、行政：市町福祉課職員、健福職員、保健師、利用先スタッフ等 延べ19名)
- ・ 富士圏域ネットワーク会議
2回 (行政：健福職員、保健師、市町福祉課職員、医療機関：Dr, OT、PT, 急性期・回復期・精神科病院MSW等 43名)
- ・ 当事者利用施設等にての勉強会 3回 (施設スタッフ、家族等 延べ9人)
- ・ 市町担当者との連絡調整会議 5回 延べ11人

そら

- ・ 高次脳機能障害業務連絡会
(総合病院、リハビリテーション病院、神経内科クリニック相談員及びリハビリテーションスタッフ・相談事業所・生活支援センター・障害福祉サービス事業所・県健康福祉センター・保健所・市町の職員・病院相談員・家族会) 58名

暁

- ・ 高次脳機能障害業務連絡会
(総合病院、リハビリテーション病院、神経内科クリニック相談員及びリハビリテーションスタッフ・相談事業所・生活支援センター・障害福祉サービス事業所・県健康福祉センター・保健所・市町の職員・病院相談員・家族会) 58名
- ・ 第二回精神保健福祉業務連絡会 高次脳機能障害について
(相談事業所・地域活動支援センター・障害者支援センター・生活支援センター・障害福祉サービス事業所・県健康福祉センター・保健所・市町の職員・病院相談員・福祉大学相談センター・家族会) 50名

ぼるた

- ・ 第一回高次脳機能障害西部地区業務連絡会
(相談事業所・就労・生活支援センター・保健所・医師・県健康福祉センター・地域包括支援事業所・市町の職員・病院相談員・リハビリ職員・看護師) 55名
- ・ 第二回高次脳機能障害西部地区業務連絡会
(静岡障害者職業センター・ジョブコーチ・相談事業所・就労・生活支援センター・保健所・県健康福祉センター・地域包括支援事業所・市町の職員・病院相談員・リハビリ職員・看護師) 50名
- ・ ケース会議 12回 5 ケース
(浜松北病院・浜松南病院・遠州病院・小笠病院・聖隷三方原病院 (医師・看護師・リハビリ担当者・相談事業所・保健師・ジョブコーチ・本人家族・就労支援事業所))

高次脳機能障害サポートネットしずおか

- ・ 静岡高次脳機能障害リハビリテーション講習会
(当事者・家族・医療関係・福祉機関・行政機関・一般マスコミ関係・教育関係 158名)
- ・ 静岡高次脳機能障害リハビリテーション講習会
(当事者・家族・医療機関・福祉機関・行政機関・一般マスコミ関係・教育関係 127名)
- ・ 高次脳機能障害自立生活・就労支援シンポジウム
(当事者・家族・医療機関・福祉関係・行政機関・一般・マスコミ関係・教育関係・障害者センター機関 189名)

- ・「脳外傷友の会しずおか」勉強会 毎月3回（西部地区・中部地区・東部地区）
（当事者・家族・支援コーディネーター・支援者）
- ・委員会 6回 当事者・家族・支援コーディネーター・支援者
- ・総会 当事者・家族・支援コーディネーター・支援者
- ・交流会 当事者・家族・支援コーディネーター・支援者
- ・新年会 当事者・家族・支援コーディネーター・支援者

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会相談会・ケース会議など）

きさらぎ

- ・医療相談会 6回
- ・家族講座 6回
- ・東部定例会 8回
- ・高次脳機能障害支援普及事業担当者連絡会 4回
- ・脳外傷友の会「しずおか」東部 勉強会 9回
- ・脳外傷友の会「しずおか」総会
- ・日本リハビリテーション医学会
- ・山梨県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2009「高次脳機能障害を語ろう-in 南部-」
- ・平成21年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会
- ・支援拠点機関等全国連絡協議会
- ・静岡高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2回
- ・高次脳機能障害者の自立生活 就労支援シンポジウム
- ・ケース会議 4回
- ・東海ブロック会議
- ・高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
- ・全国連絡協議会・全体会議・シンポジウム
- ・県検討専門家会議
- ・県高次脳機能障害支援従事者専門研修会

くぬぎの里

- ・高次脳機能障害医療相談会 富士圏域1回
- ・高次脳機能障害者支援従事者基礎研修会 富士圏域1回
- ・県東部地区高次脳機能障害家族のための講座 6回
- ・県東部地区高次脳機能障害勉強会 12回
- ・県脳外傷友の会しずおか総会
- ・平成21年度支援拠点機関等全国連絡協議会・支援事業関係職員研修会
- ・県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2回
- ・県高次脳機能障害支援普及事業担当者会議
- ・富士・富士宮地域障害者雇用連絡会議
- ・高次脳機能障害者の自立生活・就労支援シンポジウム
- ・第9回脳外傷友の会全国大会・支援コーディネーター会議
- ・高次脳機能障害支援コーディネーター全国連絡会
- ・ジョブコーチ講習会にて高次脳機能障害者の就労支援に関する報告
- ・圏域三障害支援センター連絡会にて、高次脳機能障害者支援に関わるケース検討会実施
富士市障害者自立支援協議会にて、高次脳機能障害者支援について現状・課題の報告

そら

- ・静岡県中部地区高次脳機能障害者総合相談会 隔月開催
- ・脳外傷友の会しずおか中部地区勉強会 毎月土曜日開催
- ・静岡県高次脳機能障害支援普及事業担当者連絡会 4月・7月・9月

- ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 7月1～3日
- ・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 7月11日
- ・地域リハビリテーション（高次脳機能障害）研修会 7月22日
- ・高次脳機能障害者の自立生活就労支援シンポジウム 8月22日
- ・小児高次脳機能障害支援セミナー（千葉県） 9月12日
- ・支援コーディネーター全国会議 10月16日

暁

- ・高次脳障害者支援事業関係職員研修
- ・全国高次脳機能障害相談支援コーディネーター情報交換会
- ・第9回 脳外傷友の会 全国大会 in 広島
- ・第1回 支援コーディネーター全国会議
- ・東海ブロック連絡協議会
- ・県高次脳機能障害支援普及事業担当者連絡会 4回
- ・高次脳機能障害医療等総合相談会 4回

ぼるた

- ・高次脳機能障害者集いの場設立準備会 3回・高次脳機能障害者集いの場 6回
- ・西部地区高次脳機能障害勉強会 5回
- ・西部地区相談会 6回
- ・支援コーディネーター全国会議 1回
- ・静岡県リハビリテーション協議会 1回
- ・西部地区家族会 12回
- ・静岡県高次脳機能障害支援普及事業担当者連絡会 4回

高次脳機能障害サポートネットしずおか

- ・全国脳外傷友の会委員会 運営委員会
- ・全国脳外傷友の会広島大会 運営委員会・支援コーディネーター会議
- ・高次脳機能障害支援普及事業平成21年第1回支援コーディネーター全国会議
- ・高次脳機能障害支援普及事業担当者連絡会
- ・焼津市消費生活展 当事者・家族
- ・後天性脳損傷の子どもを支援するシンポジウム
- ・第2回浜松地域リハビリテーション特別講演会
- ・精神保健業務連絡会
- ・第46回日本リハビリテーション医学会
- ・山梨高次脳機能障害リハビリテーション講習会2009「高次脳機能障害を語ろう・in 南部」
- ・高次脳機能障害相談事業
- ・高次脳機能障害地域連絡協議会・・・浜松・磐田・藤枝・沼津・伊東・熱海・下田・御殿場
- ・高次脳機能障害ディケア
- ・静岡県作業療法士学会
- ・浜松リハビリテーション勉強会 6回
- ・沼津高次脳機能障害家族会 6回

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）

きさらぎ

- ・他会議等でのパンフレット配布

くぬぎの里

- ・障害者生活支援センターパンフレットに高次脳機能障害について記載 配付
- ・圏域内の病院・公共機関、障害者相談支援事業所等にポスター掲示、リーフレット配付

そら

- ・毎月発行機関誌に時々掲載
- ・パンフレットの配布

ぼるた

- ・保健所・行政配布・各種会合等でのパンフレット配布・病院相談室への資料配布

高次脳機能障害サポートネットしずおか

- ・会報年三回発行
- ・リーフレット作成

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

くぬぎの里

- ・東京都高次脳機能障害支援拠点機関・葛飾区のとりにくみについて見学研修
- ・就労継続支援B型事業所訪問による高次脳機能障害者受け入れ可否等の実態調査

高次脳機能障害サポートネットしずおか

- ・東京都高次脳機能障害支援拠点機関・葛飾区のとりにくみについて見学研修
- ・シンポジウム・講演会・大学講義アンケート収集

診断評価・リハビリテーションなど

くぬぎの里

- ・センター・世帯訪問等にて、高次脳機能バランサー・認知機能回復のための訓練指導マニュアル等を活用してのトレーニング

その他の支援活動

きさらぎ

- ・施設利用に関する見学の同行

くぬぎの里

- ・入院中の当事者について、病院で、医療スタッフ・家族等にて、退院後の支援についてのケア会議を実施
- ・就労支援については、ハローワーク・障害者職業センター・障害者就労・生活支援センター・ジョブコーチ等にて連携した支援
- ・受傷後数年が経過しており、医療機関への受診をしていない当事者への医療機関の紹介→医療機関との連携
- ・障害者手帳申請・年金受給申請等の支援
- ・自賠責保険・労災保険等の申請に係わる支援

支援拠点機関名 岐阜県精神保健福祉センター / 社会医療法人厚生会 木沢記念病院

支援拠点機関がない場合の問い合わせ先

支援コーディネーター（職種） 臨床心理士 1名

当事者／家族からの直接相談のべ件数（21年度：平成21年4月～平成22年3月）

電話	33件
来院／来所	88件
メール・書簡	0件
その他（作業所訪問）	21件

機関・施設等からの間接相談のべ件数（21年度：平成21年4月～平成22年3月）

電話	36件
来院／来所	1件
メール・書簡	17件
その他（訪問・出張・同行等）	0件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会
相談会・ケース会議など）

H21/11/25 高次脳機能障がい普及啓発研修会・事例検討会<飛騨> 医療福祉関係者など約80名が参加
H22/01/30 岐阜高次脳機能障害フォーラム第1部・岐阜県高次脳機能障がい支援講演会
医療福祉関係者・当事者家族など約200名が参加
H22/03/10 高次脳機能障がい普及啓発研修会<東濃> 医療福祉関係者など約80名が参加
H22/03/27 高次脳機能障がい医療従事者研修会 医療福祉関係者など約50名が参加
その他、精神保健福祉センターおよび当事者作業所にてそれぞれ毎月1回相談日あり

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・
交流会相談会・ケース会議など）

H21/05/30 第12回岐阜県脳神経外科懇話会 岐阜県内脳神経外科医約60名が参加
H21/12/04 ケース会議
H22/01/22 厚生労働科学研究東海ブロック会議
H22/01/30 岐阜高次脳機能障害フォーラム第2部・岐阜脳リハビリテーション講習会
医療福祉関係者・当事者家族など約200名が参加
H22/01/30 第1回日本ニューロリハビリテーション学会
全国脳神経外科医・リハビリテーション医・神経内科医・神経再生医学研究者
リハビリテーション技師・看護師など約300名が参加
H22/02/23 岐阜県高次脳機能障害支援対策推進委員会

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

『高次脳機能障がい者支援に関するアンケート調査報告書』

診断評価・リハビリテーションなど

木沢記念病院脳外科外来初診患者：平成21年4月～平成22年3月 60名

その他の支援活動

支援拠点機関名 三重県身体障害者総合福祉センター

支援コーディネーター（職種） 相談支援専門員2名（内1名は施設のケースワーカーを兼務）

当事者／家族からの直接相談のべ件数（21年度：平成21年4月～平成22年3月）

電話	547件
来院／来所	480件
メール・書簡	128件
その他（訪問・出張・同行等）	381件

機関・施設等からの間接相談のべ件数（21年度：平成21年4月～平成22年3月）

電話	276件
来院／来所	4件
メール・書簡	230件
その他（訪問・出張・同行等）	23件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会
相談会・ケース会議など）

H21/7/23	高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会	11名
H21/9/5	高次脳機能障害者地域支援セミナー	121名
H21/10/17	高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会	50名
H21/11/14	高次脳機能障害者地域支援セミナー	55名
H22/1/30	高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会	100名
H22/3/18	高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会	15名

高次脳機能障害ケースカンファレンス：当センターの会議に拠点病院医師参加（計8回×15名）

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・
交流会相談会・ケース会議など）

H21/6/28	三重県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修（コーディネーター講師）
H21/7/28	三重県障害者自立支援協議会（コーディネーター参加）
H21/8/8	21年度職業リハビリテーション実践セミナー（コーディネーター講師）
H21/9/8	三重県障害者生活支援事業連絡協議会（コーディネーター講師）
H21/12/12	和歌山県高次脳機能障害支援普及事業研修会（コーディネーター講師）
H22/1/22	厚生労働科学研究東海ブロック会議
H22/1/30	21年度職業リハビリテーション実践セミナー（コーディネーター講師）

家族定例会：コーディネーター対応（計9回）
市開催の相談会：コーディネーター対応（計8回） その他施設での勉強会等に協力

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）
パンフレット・冊子を作成し配布（セミナー開催時及び案内時に各関係機関等へ配布）

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

診断評価・リハビリテーションなど

三重県身体障害者総合福祉センターにて障害者自立支援法によるリハビリテーションを実施

その他の支援活動

H21/6（岩手県・埼玉リハ）、H21/8（奈良リハ）、H22/2（宮崎県）、H22/3（名古屋リハ）の視察受入

H21 年度愛知県実績 <支援拠点機関名 名古屋市総合リハビリテーションセンター>

支援コーディネーター（職種） 専任 2名

当事者／家族からの直接相談のべ件数

来院／来所	1228 件
電話	} 291 件
メール・書簡	
その他（訪問・出張・同行等）	22 件

機関・施設等からの間接相談のべ件数

来院／来所	96 件
電話	} 463 件
メール・書簡	
その他（訪問・出張・同行等）	29 件

主催した会合・対象者・参加人数（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・交流会
相談会・ケース会議など）

① 講習会

H21/08/29 高次脳機能障害支援セミナー<科研> 支援者・家族・当事者・一般市民等 参加408名

H21/11/21 脳外傷リハビリテーション講習会 家族・当事者・支援者・一般市民等 参加142名

② 愛知県高次脳機能障害支援普及事業相談支援体制連携調整委員会（カッコ内は通算）

H21/09/30 第1回 委員（拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）19名

H22/03/19 第2回(予定)委員（拠点機関・愛知県・名古屋市・関係機関・家族会・学識経験者）19名

③ 名古屋市総合リハビリセンター 高次脳機能障害見学・研修会

H21/06/10・09/09・12/09・H22/02/10 各回55名参加 午前：全体研修/午後：部門別研修

④ 高次脳機能障害者「生活適応援助者（生活版ジョブコーチ）」養成研修

前期＝H21/09/14-16、後期＝H22/02/25-26 参加者：スタッフ、当事者団体等 37名

※ H22/01/22 厚生労働科学研究東海ブロック連絡協議会

主催はしていないが、協力・出席した会合（研修会・講習会・連絡調整会議・協議会・委員会・勉強会・
交流会相談会・ケース会議など）

① 研修会・勉強会講師／愛知県内

行政関係 愛知県相談支援従事者初任者研修、愛知県市町村保健師研修会 参加計620名

豊田市高次脳機能障害事例検討会（3回） 参加計100名

当事者団体 くも膜下出血家族会くるみ勉強会、NPO法人みずほ地区会講習会、ほか 参加計220名

その他 日弁連交通事故サポートセンター高次脳研修 参加80名

② その他

名古屋市生活支援センター連絡会（1/2M）への参加

認定看護師研修一計4回

広報・啓発活動（パンフレット・機関誌・ウェブサイト・冊子・DVD等の発行や配布など）

高次脳機能障害のパンフレット、ポスターの作成、配布

認知機能回復のための「訓練指導マニュアル」発刊／メディカ出版

名古屋市総合リハビリテーションセンターの高次脳関係のHP（新着情報）は随時更新

調査・情報収集活動（実態調査・地域支援機関マップの作成など）

「脳外傷後の高次脳機能障害者の実態調査」の発刊<科研>—H11年調査と同様の内容で、変化を検証

診断評価・リハビリテーションなど

高次脳機能障害者に対する診断・評価・医学的訓練の医療部門から、生活訓練・職能訓練の福祉部門、就業支援・就学支援等の社会復帰支援まで一貫して行える「総合拠点方式」の機能を有している

その他の支援活動

名古屋リハの各部門が（生活支援課、就労支援課など）がそれぞれの分野で実施

愛知県外での研修会講師、県外からの見学を随時受け入れ

厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業
平成21年度 総括研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究
分担研究者 野村忠雄
高志リハビリテーション病院病院長

研究要旨

北陸ブロックでは、富山県、石川県、福井県の3県に設置された地方支援拠点機関および地方自治体との北陸ブロック会議を開催し、各県の高次脳機能障害支援普及事業の円滑なる実施を図った。また、今年度からの重点取り組みとして、18歳未満発症の高次脳機能障害者についての検討を行った。

A. 研究目的

北陸ブロックにおける高次脳機能障害者への専門的な相談支援のあり方、関係機関との連携のあり方など支援ネットワークの構築および円滑な運用を図った。また18歳未満発症の高次脳機能障害者の支援体制の構築に向けたデータの集約を行った。

B. 研究方法

1. 北陸ブロック会議の開催：富山県高次脳機能障害支援センター(富山県高志リハビリテーション病院)を中心として、北陸ブロック会議を開催し、北陸3県での高次脳機能障害支援ネットワークを構築する。
2. 各県での取り組みに対して助言・支援を行う。
3. 北陸ブロックにおける18歳未満発症の高次脳機能障害者の相談支援状況の把握を行う。

(倫理面での配慮)

調査研究は所属する施設の倫理委員会の承認を経て実施する。調査対象者の個人情報等に係わるプライバシーの保護ならびに如何なる不利益も受けないように十分配慮した。

C. 研究結果

1. 平成21年度北陸ブロック会議の開催

日程：平成21年7月11日(土) サンシップとやま704

出席者：行政関係3名、各県支援センター15名、助言者2名

1) 現状報告

各県担当者より、取り組みの現状と今年度の予定等について報告があり、意見交換を行った。

2) 事例検討会

「小児期受傷ケースの支援」について富山県より事例提供し、名古屋市立大学脳神経外科教授山田和雄先生から助言をいただき、意見交換を行った。

平成21年度高次脳機能障害者支援事業の実施実績（相談件数は2月末集計）

県名	富山県	石川県	福井県
支援拠点機関名	富山県高次脳機能障害支援センター （富山県高志リハビリテーション病院内） Tel076-438-2233 平成19年1月15日開設	石川県高次脳機能障害相談・支援センター （石川県リハビリテーションセンター内） Tel076-266-2188 平成19年4月15日開設	福井県高次脳機能障害支援センター （福井総合クリニック内） Tel0776-21-1300 平成20年5月15日開設
支援コーディネーター（職種）	臨床心理士	保健師・心理士	言語聴覚士
当事者・家族からの直接相談（延べ件数）	電話：48件 来院／来所：55件 メール・書簡：0件 その他（訪問・出張・同行等）：10件	電話：127件 来院／来所：165件 メール・書簡：1件 その他（訪問・出張・同行等）：32件	電話：479件 来院／来所：443件 メール・書簡：45件 その他（訪問・出張・同行等）：123件 合計1090件
機関・施設等からの間接相談（延べ件数）	電話：55件 来院／来所：0件 メール・書簡：0件 その他（訪問・出張・同行等）：0件	電話：90件 来院／来所：37件 メール・書簡：9件 その他（訪問・出張・同行等）：12件	電話：465件 来院／来所：41件 メール・書簡：23件 その他（訪問・出張・同行等）：53件 合計582件
主催した会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（6回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ78名 ・高次脳機能障害講演会 対象者：一般、関係機関職員 参加人数：136名 ・相談支援体制連携調整会議 対象者：学術経験者、関係団体、関係機関 参加人数：21名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（4回） 対象者：運営委員17名 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（3回） 対象者：高次脳機能障害者の家族 参加人数：延べ60名 ・生活支援教室（週1回 延べ43回） 対象者：高次脳機能障害者 参加人数：延べ257名 実12名 ・研修会（2回） ① 対象者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：23名 ② 対象者：生活支援及び就労支援関係者等 参加人数：68名 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室（11回） 対象者：家族・当事者 参加人数：一般129名、関係者65名 ・高次脳機能障害交流会（5回） 対象者：家族・当事者・一般 参加人数：一般29名、関係者8名 ・高次脳機能障害勉強会（29回） 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：564名 ・高次脳機能障害関係者研修（5回） 対象者：高次脳機能障害に携わる関係者 参加人数：93名 ・福井県相談支援体制連絡調整会 対象者：相談支援体制連絡調整会議委員 参加人数：一般1名、関係者11名 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（12回） 対象者：支援センター運営委員

協力した 会合	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県相談支援従事者初任研修 ・富山県相談支援従事者現任研修 ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・富山県障害者自立支援協議会専門部会 ・高岡障害者就業・生活支援センター就労サポーター養成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係者研修会 ・平成21年度高次脳機能障害支援普及事業第1回支援コーディネーター全国会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害セミナー（検査版） ・高次脳機能障害セミナー（講演会） ・福井県奥越地区自立支援協議会 ・ケース会議：外部からの依頼にて36回参加
広報・啓発 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット「子どもの高次機能障害を知っていますか？」の作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、ホームページ、センターニュースの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリスト配布使用 ・パンフレット、リーフレット配布 ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル（6施設） ・精神障害者保健福祉手帳診断書記載マニュアル改訂 ・支援センターニュース発行（No1～3）
調査・情報 収集活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害者の生活実態調査」 		<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関調査：支援センターパンフレットへの施設情報依頼し、40施設より希望あり
診断評価・リハビリ テーション等	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高志リハビリテーション病院にて実施 ・診断実数 20件 ・評価及び外来リハビリ実数 28件、延べ470件 ・グループ療法(外来OT訓練)実数4件、延べ52件 		<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施
その他の 支援活動		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議 ・家族会支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県脳外傷友の会「福笑井」（福井県高次脳機能障害者と家族の会）運営協力
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・石川県高次脳機能障害支援関係者連絡会 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度高次脳機能障害専門セミナー（長野県）講演 ・東村山市医師会市民公開講座講演 ・さわやか介護セミナー講演 ・リハビリテーション77合同研究大2009広島発表 ・第25回日本リハ医学会北陸地方会発表 ・石川県高次脳機能障害相談支援センター生活支援教室講義 ・新田塚医療福祉センターフォーラム発表
北陸ブ ック連絡 協議会	参加者：県担当者2名、支援センター9名	参加者：支援センター2名	参加者：県担当者1名、支援センター4名